

たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和5年11月1日(水)
担当課	教育事業部歴史文化財課 (龍野歴史文化資料館)
電話	0791-63-0907

報道機関各位

歴史遺産を活用したアート空間創造事業  
 Historical Heritage Installation of Tatsuno ～海の楽校 in 室津～  
**舞台「北前船物語」を開催**

Historical Heritage Installation of Tatsuno ～海の楽校 in 室津～の最後を飾る舞台上演を開催します。脚本、演出、出演など市民参加型の手づくりの創作劇を是非ご観覧ください。

記

- 1 日 時 令和5年11月26日(日)  
第1部：11時～12時30分/第2部：15時～16時30分
- 2 場 所 室津小学校体育館(御津町室津145-1)
- 3 活動内容 企画・運営：わくわくプロジェクト  
脚本：西村祐貴さん 演出：松井麗子さん  
たつの市民を中心とする幼児から70歳代までの幅広い世代約30名が上演します。  
6月から40日を超える練習やワークショップの他に、賀茂神社、浄運寺、室津の町並み探検を行ったほか、盆踊り、夏越祭り、友君羊羹の製作ワークショップなどで地元室津の方々との交流を深めました。その成果の一部を台本に盛り込んでいます。
- 4 あらすじ 舞台は、室津千軒といわれ、賑わいを見せていた江戸時代後半の室津。廻船問屋嶋屋(現たつの市立室津海駅館)の活動も繁忙をきわめていた。主人公は、その嶋屋の船頭文蔵と文蔵に恋する嶋屋の奉公娘あさひ。文蔵の父文次郎は越前国三国湊の豪商内田家の船頭だったが、文次郎が難破で亡くなり、内田家から嶋屋に文蔵を返すよう手紙が届いた(嶋屋や三国湊に伝わった史料をもとに構成)。  
この出来事から、井原西鶴の書いた「姿姫路清十郎物語(お夏清十郎)」の悲話と、文蔵への想いをとげられない自らの姿を重ねるあさひであった。文蔵とあさひの運命はいかに・・・
- 5 入 場 料 無料(午前・午後 各150席、事前予約制)

- 6 申込期間 受付中(定員に達し次第締め切り)
- 7 予約方法 室津海駅館へ直接、電話(079-324-0595)  
右のQRコードからWebで予約。  
詳しくは別添チラシを参照。
- 8 その他 開演15分前に「海の楽校 in 室津 終業式」  
として歴史遺産を活用したアート空間創造  
事業の年間活動をスライドで紹介します。
- 9 協 力 室津を活かす会
- 10 運 営 わくわくプロジェクト



Web 申し込み